

断熱等級5の誘導基準による厚み

木造軸組構法又は木造枠組壁工法【一戸建て住宅・充填断熱】

部位		地域区分							
		1	2	3	4	5	6	7	8
屋根	必要熱抵抗値 (㎡・K/W)	6.9	6.9	5.7	5.7	5.7	5.7	5.7	1.0
	アイシネンフォーム厚み (mm)	242	242	200	200	200	200	200	35
天井	必要熱抵抗値 (㎡・K/W)	5.7	5.7	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	0.8
	アイシネンフォーム厚み (mm)	200	200	154	154	154	154	154	28
外壁	必要熱抵抗値 (㎡・K/W)	4.0	4.0	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	-
	アイシネンフォーム厚み (mm)	140	140	95	95	95	95	95	-
床	外気に接する 部分	必要熱抵抗値 (㎡・K/W)	5.0	5.0	5.0	3.4	3.4	3.4	-
		アイシネンフォーム厚み (mm)	175	175	175	119	119	119	-
	その他部分	必要熱抵抗値 (㎡・K/W)	3.3	3.3	3.3	2.2	2.2	2.2	-
		アイシネンフォーム厚み (mm)	116	116	116	77	77	77	-

JIS A 1412-2、左ページ熱伝導率0.035W/(m・K)に基づく厚み

2022年6月17日に公布された改正建築物省エネ法が、2025年4月施行され、省エネ基準の全面的な適合義務化がスタートしました。

省エネ適合義務化に伴い、上記の断熱材基準厚みを満たすことにより適合を確認することが可能です。

ただし、適合に関しましては、開口部の熱貫流率・設備機器の仕様確認も必要となります。

各地域区分ごとの必要適合仕様のご確認をお願い致します。